

居木神社

創建の年代は明らかではありませんが、記録によると、住古鎮座の地は、現在の山手通り居木橋付近に位置していたようです。当時は、「雉子の宮」と称されて、江戸時代の初期に目黒川の氾濫を避け、現在の地に移されました。そして、明治 5 年に「居木神社」と改められました。現在の社殿は昭和 53 年に再建され、芳水小学校校歌にもある「常盤なる居木の森や」高台地に拝するに至っています。境内末社の巖島神社は品川区指定有形文化財に指定されています。また、拝殿前の石段の横手には、溶岩石による富士塚があり、しながわ百景に選定されています。

一度、じっくりご覧になってはいかがでしょうか。

